



卒園児の先生達と

★ お元気ですか？

理事長 赤西 雅之

同窓生の皆さんお元気ですか？

幼児学舎子どもライブラリーは、認定こども園に衣替えして2年目になりました。

今年10月の運動会は3世代交流プログラムを組み全18種目の内10種目におじいさん、おばあさんに出場していただきました。結果として、やはり子どもライブラリーらしいというか、とんでもないというか楽しくて大騒ぎで、感動的で爽やかな半日となりました。

保護者の後日アンケートの中に「疎遠になっていた実父と仲直りできました」「運動会前に大家族でミーティング、終わってからやはり大家族で食事しながら反省会と大いに絆が深まりました」「父と子が走るの親子競技、おじいさんと孫がはしるのは祖父母競技。でも今回は祖父と子どもの父親が照れくさそうに手をつないで走っていた。父親は小学生以来30年ぶりと言っていました」など私達が想像していた以上に、家族でいろいろなコミュニケーションや、予期せぬ出来事が起きていたようです。小さな子どもを真ん中に置いて世代を超えて大人が交流する。過去や未来のさまざまな思いがそこにあふれて、それらを好意的に受け止めながら、前へ進んでいく、そんな大人を見ながら子どもは学びを深めていくのでしょうか。

子どもライブラリーが画一的な教育・保育を提供するだけの子ども園ではなく、大人にも子どもにも深い学びの場を提供できる場所でありたいと考えています。

そして今日も30年前と変わらずとんでもなくあそびのスピードは早くスケールは大きく、その中で子ども達は、多様で豊かな生きる力の経験を積み重ねています。そしてkeywordの「楽しい」「あしたもやろうぜ」と言葉を交わしながら、11月の赤い夕陽の中を帰っていく子ども達の生き生きとした姿は30年前とかわりません。

そしてもうひとつ、同窓生と現役の父親の集まり「青大将の会」もすっかり定着しました。行事を通じての交流だけでなく、年2回の飲み会も大盛り上がりになります。そして今年は、母親だけの「飲み会」を予定しました。名付けて(お月見会)。お父さんが年休で仕事を休んで子どもの面倒を見て夕飯を食べさせて、夜寝かせ、酔っぱらったお母さんの帰宅を待つという趣向です。全員で78名の参加となりました。これは、今までにない大騒ぎとなりましたが紙面の都合で割愛します。(残念)父親、母親の画一的な役割にはまってしまわず、こんなことがあっていいでしょう。子どもを真ん中に置いて家族を見直すきっかけになればいいなと思っています。子どもライブラリー全体がひとつの家族として、歴史を重ねていけるように、これからも応援よろしくをお願いします。

家族団らん

キオラクラブ 会長 横田 尚克

みなさま、今年度よりキオラ会長をさせていただくこととなりました 横田です。よろしくお願ひいたします。
会長就任最初の会報の発送が随分遅くなってしまい誠に申し訳ありません。
来年度は、予定通り発送できるよう努めてまいりたいと思います。何卒、よろしくお願ひいたします。

11/23 8kmハイキングにお手伝いとして参加してきました

私は、ライブラリーの行事の中でも8kmハイキングが一番好きです。

まだ、娘がねんねこの頃、ぐずって歩けなくなり、ほとほと困っていた時に、
じんろくのお姉ちゃんが来て、優しく励まし手をつないで歩いてくれました。

じんろくになり、決してやさしい子ではないと思っていた娘が、同じようにねんねこの手を繋いで一緒に歩いている姿を見たときに、ライブラリーの教育の意味に納得し、そんな一面を見せてもらえた8kmハイキングに感動しました。

小学生になった今でもあのころのような優しい気持ちをもってきているのかな？

スタート前の不安と元気、林の中へ入っていく2km地点の看板を見て親子共々がっかりし、残り2kmから励ましあいながら川を歩き、橋を越えゴールする。それぞれの家族のペースですが、ゴールに向かってる間に普段見ることのできない子どもの表情の移り変わりを、家族で励まし合いながらゴールに向かう。当然わくわくドキドキしながらゴールした後ですから、ご褒美の銀杏の木の下での記念撮影は、みんな幸せな顔をしています。これこそハイキングを通じた家族団らん。卒園したらこんな機会は、なかなかありません。来年は、妻と娘も連れて行こう！

一人一人の個性を大事にする時代になりました。平等、助け合いの道徳観も広がっているように感じます。反面、スマホの普及により、個人の楽しみ、個人の時間が増えているようです。コミュニケーションも情報も簡単に手に入るようになりました。何を、何を大切に、何を大切にするのか選択する目を養わないといけないと節に思います。

子どもと向き合うということを教えてくれたライブラリーの教育。卒園してついつい忘れてしまいがちですが、在園時にはその価値観を家庭で大事にしていました。子どもとしっかり向き合うためにも家族団らんは意識して作り、家族で成長していかないといけないと思います。

キオラのみなさんは、どのように家族の時間を大切にされていますか？



キオラクラブの皆様こんにちは。

カナカナクラブ 会長 藤岡 理加

★夏祭りでは、大変お世話になりました。



また、至らないことが多く、ご迷惑をおかけしたことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、話は変わりますが「余裕のある人綺麗だなぁ」という、あるCMのフレーズについて先日友人と話をしました。そうなりたいものだ、自分たちは全く違うなって感じの会話でした。私と違ってその友人は、上は7歳から5歳、5か月の3人の男の子を育て、保育園の待機待ちで、すぐにでも仕事に復帰するという多忙なママですから余裕があるわけありませんが…。

ライブラリーに入ってからのというもの、出会うみなさんが、多才な方や細やかな気遣いのできる方、仕事と育児を両立させている方など素敵な方ばかりで何か場違いなところにきてしまったかのようでした。忙しいわけではなくても、なぜかバタバタと毎日を過ごし、大雑把でうっかりも多い私です。先輩を見習い、落ち着いた素敵な女性になると何度も意気込むものの、この何十年染みついた習慣はそう容易く変えることができません。余裕といっても、時間的、経済的、心理的といろいろな側面があるのでしょうか、どんな時でも、どんな場面でもいつもと同じく過ごせる人でありたいものです。

園で人気のサッカーですが、日本代表の本田選手はいつも「準備を大切に」と言っています。彼は中学生の時からサッカーノートを毎日書き、世界で戦うために外国語の勉強もしていたとか。私もライブラリーとのご縁をきっかけに、1日1日を大切に丁寧に過ごし、外見は綺麗でなくとも余裕を感じられる女性として励み続けようと思います。ライブラリー卒園までに少しは進歩していることを願って…。

★「ねえ、定期的に大人たちでサッカーをしようよ～」と青大将の宴席で、赤西新志先生にお願いしたことがきっかけで今では月1回、旧西川病院跡地の公園でサッカーをしています。

ここ数年、子どもたちもライブラリーでサッカーを楽しみ、家族での会話もサッカーの話題も増えてきたのではないのでしょうか？姫路のライオン・ギグス(理事長先生、ネットで調べてみて下さい。そっくりです)をはじめ、先生方、お父さん、お母さん、またご夫婦で、中学生以上のお兄ちゃんの40名前後で汗を流しています。

13:00～みんなでゴールを組み立て会場作り。もちろん集合時間に間に合わない人は来れる時間に来ればOKです。また用事があれば早退もOKです。

そして、入念な準備運動、若くはないですから(笑)5～6名のチーム編成で、1チームにサッカー経験者が1～2名いますので、その方が試合を組み立てます。そしてチームに女性が1～2名程度います。1試合7分ハーフの計14分。間に給水タイムがあります。

ゴール前で一生懸命手を振ってパスを待っているお母さん、勇猛果敢にお父さんのボールを取りに行くお母さん、またまたドイツGKのノイアーのようにゴール前に仁王立ちするお母さん、結構お母さんが活躍するサッカーなのです。実は女性が点を入れると2点加算されるというシステム…3月のじんろくさよならサッカー大会の得点王もお母さんでした。

子どもたちの黄色い声援の中、シュートを決めてパフォーマンスをしたり、時折見せるプロ顔負けのプレーにため息が出たりと…経験者・未経験者・男女・年齢問わず楽しくできるのがサッカーのいいところであり、ライブラリーならではの楽しみです。

私もなんだかんだで30年近くサッカーをしています。体力も落ち、ズルさを覚えましたが、若いお父さんたちからパワーをもらっています。

またお母さんたちの黄色い声援も悪くありません(笑)

真剣に楽しく～～～一緒に汗流しませんか？

ご興味がある方は赤西新志先生までお問い合わせ下さい。



今年の2大ニュース

幼児学舎 子どもライブラリー 園長 前川 昌恵



給食室は変わっても、おばちゃんたちは変わらず元気です

★キオクラブの皆さま、お元気ですか?子どもライブラリーは、相変わらず子ども達の賑やかで、勢いのある穏やかさに包まれています。

認定こども園としてスタートし2年目となりました。お母さん、お父さんがライブラリーの卒園生で・・・と言う方も増えて来ました。しかし「子どもをライブラリーに入れたい」と思う保護者の方全員の希望に答える事が難しい現状もあり、これはとても残念な事です。その方達は特にライブラリーのねんねこ組を経験させてあげたいと思われています。しかしねんねこ組は3号認定児となり、姫路市が利用できるかどうかを保育の必要性に応じて決めて行きます。3歳児になると1号認定児として入園する事が出来ます。これは園が入園を決定する事が出来ますので、兄弟姉妹の方、キオクラブの方を優先に考えています。その時まで待っていただかなければならないこともあります。28年度の新入園児を決定する時には、一般の方は願書の先着順としていました。大雨の中、6時間も前から園の前に並ばれはじめ、これは失敗でした。29年度の新入園児に関しては、定員を超える場合は抽選とさせていただきます。定員より多くなったらどうしよう・・・抽選で一人の子ども、一つの家族の運命が変わると思うと、定員内で願うしかありませんでした。ハラハラしましたが、今年は抽選を行うことなく、無事に新入園児を決定する事となり一安心しています。

こんな事だけ聞くと、認定こども園ってなんだか大変そう・・・と思われるかもしれませんが、公的機関として、随分補助してもらえる事もあります。それを今年の2大ニュースとして報告します。なんとこの夏、子どもライブラリーのねんねこルーム(だけ)が冷暖房完備となりました。工事が終わって初スイッチを入れた時、子ども達、先生達の歓声が沸き起こったのは言うまでもありません。また長年大切に愛用していただき、子ども達の食を支えてきてくれた調理室の改修工事を行いました。業務用の冷蔵庫・冷凍庫が設置され、スチームコンベクションが導入されました。

時代と共に変わって行かなければならない事もありますが、子どもライブラリーらしさとして、ずっと変わらず大切に守っていききたい事もあります。子ども達の姿を、自分達の仕事の鏡と考え、先生達と毎日をご一緒して行きたいです。

お久しぶりです

幼児学舎 子どもライブラリー 主任 土井 友紀子



今年のじんろく組と

★キオクラブの皆様こんにちは。

「はじめまして」の方もたくさんいらっしゃるのに、私がこの大切なキオ新聞の原稿を書いてもいいのかと、とても緊張しています。そして主任としての原稿・・・なにを書けばいいのかと、とても困っています。

子どもライブラリーに勤めて丸10年が経ち、最初に担当した子達が中学生になりました。あの頃は若くて、前髪をチョンマゲにしてたし、迷彩柄のズボンも平気ではけてたし、「いくら食べても太らない」と本気で思っていたし、失敗もいっぱいしました。振り返ると自分のことが危なっかしいし、恥ずかしいことだらけです。子ども達に「ごめんね」と謝らないといけないようなことも山のようにあります。

卒園した子ども達にとって、そしてお母さん方にとって、子どもライブラリーとはどんな場所でしょうか?どんな存在でしょうか?土曜日に元気な姿であそびに来てくれたり、ちょっと大きくなって嬉しはずかしで夏まつりに来てくれる高学年の子達に会えるのは、いつもとても楽しみです。担当した子と一緒にNZに行けたときには、“そのままで大きくなってんだな”“昔と一緒に可愛いな”2週間の旅でそんなことがたくさん感じられて本当に幸せでした。そして、「トライやるウィーク」が近づいてくる学年になり、この間はバツリ会った子に、「どいちゃ〜ん!元気〜?トライやる行かしてな〜♪」と道路を渡りながら言われたりもしました。卒園しても、こうやって繋がっていられる機会がたくさんあり、大きくなる過程で子どもライブラリーを帰りたい大切な場所だと思ってくれていることって最高に嬉しいこと、有難いことだなと思います。来年のトライやるウィーク、どんな懐かしい顔に会えるのか、今からワクワク楽しみです。

今年は、またまたじんろく組の担当です。今年の子達ももうすぐキオクラブの仲間入りか・・・と考えると寂しくなりますが、今できることをコツコツ頑張っていきたいです。

卒園生が保護者となってライブラリーに帰ってきてくれました!
先生たちも若いですね!

「ライブラリーよ、私は帰ってきた。」

松本 あさひ

★ ライブラリーに帰ってきて、早4年と9ヶ月が経ちました。

もう私がライブラリーに在園していたよりも長い時間が経っているのですね。娘が今年卒園し、今は二人の息子がお世話になっています。

娘の入園のために20数年ぶりライブラリーを訪れた時の「うわー!!!これこれこれー!!!」という在園当時にフラッシュバックしたようなワクワクドキドキした気持ち、今でもライブラリーの門をくぐると感じます!ライブラリーに入った時に出迎えてくれる子どもたちの可愛い作品、キツネのタペストリー、たくさんの色画用紙、お帳面の



天井から釣り下がって優しく揺れているモビール、泥だんご作り、リアルなおままごと、あの大きなクマさんは当時からいたのか?卒園生のみんなはライブラリーと聞いて何を思い出すのだろうか?きっとみんな穏やかにのんびり過ごした幸せな時間を思い出すのではないかなと思います。当時のじんろくメンバーに会いたいな。みんな元気になってるかな?



なつまつり Gallery

来年の5年生(29期)のみなさんの参加も楽しみにお待ちしています!



2016年 なつまつり



2015年 なつまつり

2016年は
ニュージーランドから
たくさんのお客様が
いらっしかったです!

小1、2のお母さんを中心に
飲み物売り場のお手伝いを
たくさん的小5から中1のキオラの
子どもたちが、お手伝い
させていただきました!



子どもライブラリー

INFORMATION

子どもライブラリーのホームページが リニューアルしたのはご存じですか？

ホームページアドレスはコチラ！

右記のQRコードを読み込むことで簡単にアクセスできます！



是非、新しくなった
HPをご覧ください！！



当園について ABOUT 教育について EDUCATION 園での生活 LIFE 子どもライブラリー CHILD LIBRARY 入園について INFORMATION 子育てQ&A QUESTION&ANSWER 理事長の言葉 BLOG

ここは子どもが自由に生きている。
ハンディキャップのある子も、そうでない子もみんな一緒に生きている。
なまいきなかおしている。えらそうなかおしている。
やさしい心をもっている。
あの子も、この子も、ここは子どものための家だ。

★ 子どもたちが自由^{自由}に生きる。子どものための家。★

子どもライブラリーについて

ようこそ、幼児学舎 子どもライブラリーへ

子どもライブラリーは、大勢の子どもに、皆と同じようにすることを求める画一的な保育をするところではありません。かといって、好き勝手にする放任と重なるような自由を与えているわけではありません。
個性的な教育という本来の園味において自由でのびのびとしており、鏡がされています。
子どもライブラリーの具体的な教育内容は、子どもの生活プログラム、教具、行動心理など、多方面に広がり、多彩です。園舎は、一斉保育のつくりとは違って、オープンスペースになっており、ユニークです。子どもの健全な発達を促す、のびやかで、落ち着いた、環境の園舎です。

お知らせ

2015/09/07	10月のカナカナ学習会のお知らせ
2015/09/07	『国際交流』のお知らせ欄ができました。
2015/08/18	2016年度入園対象児 教育説明会のご案内

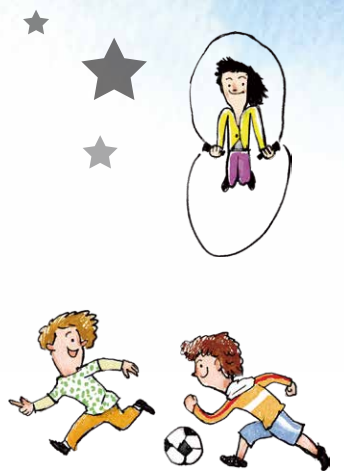
理事長の言葉

子育てQ&A

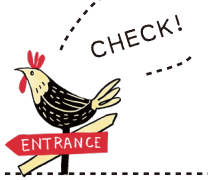
子どもライブラリー同窓会
キオラクラブ KIA ORA

キオラ通信

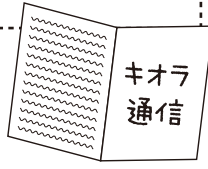
TOP



理事長の言葉も
定期的に更新
しています！



キオラ通信もご覧
いただけるようになりました。
こちらのキオラクラブバナーを
クリックしてください！



「子どもの家福祉会」ホームページもリニューアルしています！合わせてご覧ください！

★キオラ連絡網について★

子どもライブラリーでは、今年度より、園からの一斉メールで連絡方法を取れるように、システムを整えました。従来の電話による連絡網は、お母さん同士の生の声でのやり取り、息使い、ちょっとした子どもの様子のやり取りなど、連絡網をきっかけにお母さん同士の交流がうまれることもあり、大切に守ってきました。しかし時代の流れと共に、働く親が増え、連絡がなかなかつかず、役員さんには、ご苦勞をかけていたのも現状でした。

キオラクラブの皆様においては、毎年年1回キオラ新聞を発行してきました。ふとした時にポストに見覚えのある水色の封筒が届き、子どもライブラリーの現在や先生達の原稿を目にし、子どもライブラリーを懐かしく思い出していただいていた。紙媒体による新聞は、時代が変わっても大切に保管したり、手に取ることで温かみが増したりと大切にしていきたいものもありました。しかし、新聞の発送に係る費用や、住所の変更などにより届かないままの新聞も増えてきている事にも悩んでいました。

そこで、今年度より、子どもライブラリーのホームページにて、キオラ新聞を閲覧できるシステムを整える事にしました。皆様には、「キオラ新聞がホームページでアップされました」といったお知らせを連絡網にてお知らせしたいと考えています。また、同窓会のお知らせ等も発信していく予定です。以下の手順に沿って、ご登録をよろしくお願ひします。

登録していただいた個人情報は、園できちんと管理して、別の用途に使用することはありません。

【メールアドレスの登録方法】

- 電子メールの件名 (Subject) : アドレス登録
- 電子メールの本文 :
 - 1、保護者の方の「氏名」
 - 2、卒園児の「氏名」

電子メールで作成の上、
登録用のアドレスまで送信してください。



【メールアドレスに変更があった場合】

- 電子メールの件名 (Subject) : アドレス変更
- 電子メールの本文 :
 - 1、保護者の方の「氏名」
 - 2、卒園児の「氏名」
 - 3、今までのメールアドレス
 - 4、新しいメールアドレス

電子メールで作成の上、
登録用のアドレスまで送信してください。



〈登録用アドレス〉 kodomo-8_touroku@ddknet.ne.jp

- *登録メールを発信するメールアドレスが、メール配信先として登録されます。
- *右記のQRコードを携帯電話、スマートフォンで読み取っていただき、登録用画面をひらいていただくこともできます。



【園から連絡を配信する場合】

〈連絡配信用アドレス〉 kodomo-8_renraku@ddknet.ne.jp から配信します。

- *メール受信拒否設定をされている方は、緊急連絡配信用アドレスを携帯電話などに登録していただき、必ずご家庭にメールが届くように設定をお願いします。
- *登録用アドレス、緊急連絡配信用アドレスは、システムの専用アドレスとなりますので、このアドレスに返信やその他私用などを送信することはできません。

編集後記

キオラクラブ副会長 窪田憲龍

「当たり前？」

ライブラリーに入園してまもなく。やってきましたその時が。「お父さん、犬飼いたい」。室内犬が苦手な私は断固拒否。それでもしつこく粘る娘たちに、「お父さんが死んだら飼ってもええわ」。この一言で諦めるかと思いきや、「お父さん、いつ死ぬん!」。怒りを超えた笑いの中で突っぱねた。その後彼女たちの祖父が亡くなりゆく姿を見て、この言葉の重みを知ったようである。その後また2年ほど経ったある晩。「りせ、30になったら結婚するわ」と突然の宣言。「なんで30なん?」と訊くと、「20やったらまだ早いし、ちょうどええぐらいかな」「まあ、好きにしたらええけど。そんな時お父さん70超えてるから、死んでるかもしれんけど」「(計算して…)ほんまや!70超えてるな」。しばらく考え込んだ後にこちらに笑みを浮かべてこう言った。「そうか、死んでるかもしれんのか。……犬、飼お」。

生きていることが当たり前になってくることが成長というのだろうか。いやいや、「行ってきます」と別れ、「ただいま」とわざわざ言葉を交わすのは、当たり前でないどうなるかわからない一瞬の中で生きている人間の悲しさと喜びの表現ではないのか。それを交わせる「めぐりあわせ」の不思議を古来から「仕合わせ」と言ったのでしょうか(因みに幸せは近代のあて字です)。

さて、娘の言葉に気付かされて、当たり前でない一日がまた始まります。